

四日市 定年退職の男性結成「イロリバタース」

四日市市内などの男性定年退職者で作るサークル「男の囲炉裏端」の会(志田米蔵代表、同市小浜町)の歌好きの会員で結成した音楽グループ「イロリバタース」が、10月29日に同市白須賀1の総合福祉施設「かすみの里」で初のミニライブを開く。

メンバーは本番に向け月1回の猛練習に励んでいる。志田代表は「お年寄りに喜んでもらえるよう頑張りたい」と意気込んでいる。

【佐野裕】

男の囲炉裏端の会は、人が中心となり、ミニ2012年4月、60歳を越えて70代の定年退職者7人を結成。退職後の余暇を活用した仲間づくりなどに取り組み、名作映画上映会、ボウリング会、男のランチ会、歴史散歩などの分科会を作って活動している。現在の会員は21人。

イロリバタースは、カラオケ好きの6人が集まり昨年10月に結成された。現在は志田代表(69)と内田修さん(68)、刀根忠男さん(75)、森次男さん(63)、羽木良衛さん(72)の5

人が中心となり、ミニライブに向け得意のものを兼ねる内田さんは軽妙なトークで、森さんはオープンングのマジックも担当。刀根さんは最年長。羽木さんはミニライブのトリを務める歌自慢。披露するのは「旅の夜風」「高原列車は行く」「白い花の咲くころ」「憧れのハワイ航路」「青い山脈」「故郷」「月の法善寺横町」の昭和歌謡の定番7曲だ。

指導にあたる同市の混声合唱団「ヴォーチ

みんなの笑顔見たくて

ただいま特訓中 お年寄りを前に10月演奏



エ」の市川美智子代表判を押す。メンバーは「元氣な男性ばかり、ちは「のどの調子は良なので大丈夫」と太鼓く、お年寄りに自慢の予定。

歌を聴いてもらいたい」と準備万端だ。グループは、11月8日に同市蔵町で開催の「なやプラザ交流会2015」でもチャリティーミニライブを行う

市川さんの演奏で猛練習に励む「イロリバタース」のメンバー＝四日市市で